

## 「第 21 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和 2 年 4 月 23 日（木）16 時 00 分  
都庁第一本庁舎 7 階特別会議室（庁議室）

### 【危機管理監】

それではただいまより第 21 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を実施いたします。

資料を 1 枚おめくりください。現在の状況です。主な国地域ごとの発生状況、昨日の 12 時時点で、表のような数になっております。下が国内の発生状況になります。感染者数 1 万 1350 名、死亡者の方が 203 名というのが、昨日の昼時点でのデータになっております。都の発生状況は一番下のところにあります 22 日の 23 時の時点で、都で 3439 名の方が発生をしているという状況になります。

資料を 1 枚おめくりください。国の動きに関しましては、大きな動きはございません。

1 枚めくっていただきまして、4 月 22 日に、第 30 回の国の対策本部会議が実施をされております。皆様のお手元には 29 回と 30 回の国の感染症対策本部会議の資料を配布をしておりますので、後程ご参照ください。

都の動きですが、4 月 15 日に第 20 回の対策本部会議を実施しております。1 枚おめくりください。都の対応に関しましては、新しいところはございません。

新型コロナウイルス感染症の 1 枚おめくりいただきまして、各局の対応になります。このページでは財務局のところは後程、財務局長からということですのでよろしいですね。

それでは、資料を 1 枚おめくりください。この中で生活文化局になります。資料の中ほどやや下に計量検定所におけます、検定の緊急対応と、それから、生活面で不安などを抱える外国人の方の相談に多言語で対応する東京都外国人新型コロナ生活相談センターを開設、また、新型コロナウイルス感染症に関する情報発信するテレビ番組等を、新たに開始するなど、情報発信を強化しているところです。東京動画の STAY HOME の話はこの後、知事の方からお話いただく予定です。

資料を 1 枚おめくりください。中ほど産業労働局の中の一番下の下線部、東京都感染拡大防止協力金の申請受付を開始いたしました。

資料を 1 枚おめくりください。このページに関しましては新しいところはございません。

資料の次のページになりますが、新型コロナウイルス病原体検査実施等の状況になります。検査実施の人数につきましては累計で 9124、件数につきましては 2 万 481 件の検査を実施しております。陽性患者の状況に関しましては下にある通りです。陽性者数 3439 名、

退院が右端 897 名という形になっております。

次のページおめくりください。検査実施等の状況の日別の状況になります。

1 枚おめくりいただいて新型コロナ受信相談窓口の受付状況になります。一番下のところの相談件数ですが、累計で 8 万 5090 件の相談を受け付けております。

資料 1 枚、次に進んでいただきまして、新型コロナのコールセンターの受け付け状況になります。一番下の欄ですが、累計で 5 万 6949 件の相談件数を受けております。

資料 1 枚おめくりいただきまして条例の制定につきまして、これは総務局長からお願いでよろしいですか。

#### 【総務局長】

総務局でございます。

新型コロナウイルス感染症対策に関連した、条例の制定についてでございます。新型コロナ感染者のまん延の影響を受けた者の、行政上の権利利益の保全を図るために、特別措置に関する条例を、先日行われました、第 1 回臨時会で成立いたしております。この条例に関しては、従前政令が出された場合について専決でやる予定となっておりましたけれども、この時点まで政令がなかったものですから、臨時会で可決・成立したものでございます。それぞれの手続きにつきましては各局で、条例の趣旨をよくかんがみて、検討していただきたいと思っております。以上です。

#### 【危機管理監】

ありがとうございました。

資料 1 枚おめくりください。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のガイドラインの策定というところで、財務局長からお願いいたします。

#### 【財務局長】

財務局でございます。

こちらの東京都における公共工事の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン、こちら昨日策定をいたしました。各局にはすでにお知らせ通知をしておりますが、この場では改めてお知らせをさせていただきます。こちらの今月 15 日の緊急対策第 4 弾を踏まえまして、東京都発注工事におきます基本的な内容を示したものでございます。その内容、まず一つ目が工事現場における感染拡大防止措置ということで、作業従事者の健康管理などについて、記載をしております。2 点目が、感染拡大防止措置が困難な場合の対応ということで、その場合工事中止をするなど、こういった対応を取るかということに記載してございます。また 3 点目といたしまして、工事現場において感染者が発生した場合の対応ということで、現場の閉鎖、保健所等への連絡、そういった対応についてフロー図等を示しながら、お示しをしております。最後に受注者の希望による工事の一時中止等ということで、そ

の場合には受注者の責によらないものとして、工事を一時中止するということを、そういった旨を記載してございます。こちらのガイドラインにつきましては、電子調達システムのホームページに掲載をするとともに、各局の工事監督員を通じまして、各工事現場の受注者に周知をするほか、区市町村でございませうとか、関連する建設業の団体等民間の発注者にも情報提供を行って参ります。以上でございませう。

#### 【危機管理監】

ありがとうございます。

資料1枚おめくりください。命を守る STAY HOME 週間の総括表でございませう。これにつきましては後程本部長の方からお話をいただきます。

その他各局からご発言等ございませうか。よろしいですか。スカイプで参加をされておられます。各局長等の皆さんでご発言がありましたら、ミュートを解除して、ご発言をお願いします。よろしいですか。

それでは、本部長からお願いいたします。

#### 【知事】

連日ご苦労さまでございませう。

4月7日に緊急事態宣言が出されまして、そのあと、多くの都民や事業者の皆様方に、外出の自粛、そして施設の休業等で、実践をしてご協力いただいております。心から感謝を申し上げたいと存じます。

一方で都内ではいまだに新たに感染者が毎日、百名以上の高水準で推移。今日は、先ほどの速報で134名の陽性者が出ているということであります。そうした中でこの大型連休に備えまして人の流れは激しくなることが予想されて、人と人との接触が増えることで、より一層の感染拡大が進むということが強く懸念されるところであります。

そこで、4月25日から5月6日、までの12日間を、いのちを守る STAY HOME 週間、ゴールデンウィークではありません、STAY HOME 週間、そして STAY HOME、STAY In Tokyo、SAVE LIVES、家にいませう、そして東京にいませう。命を守りませうということで、企業の休業、そして都民の外出抑制など、一層進めるための取り組みを展開して参ります。

いのちを守る STAY HOME 週間であります。

第1に、在宅を進めるために、都民、企業への呼びかけを強化します。

第2に、在宅をずっと楽しむために、外出抑制の仕掛けを作って参ります。

第3に首都圏で連携、協力した広報を展開いたして参ります。

これらの三つの取り組みをパッケージにしまして展開をする。そして、とにかく家にいていただき、人と人との接触の機会を減らしていただく。このことが感染症拡大の防止の最善最短の道であります。

まず、STAY HOME 週間ですが、ポータルサイトを東京都の公式ホームページ内に作ります。これは 24 日 15 時に開設することとなります。そこには様々なコンテンツを掲載して、在宅での過ごし方を提案していくというものであります。

それから共通のロゴマークをつくりまして、これになりますけれども、テレビで CM、Web、SNS など効果的な媒体を活用しまして、統一的な広報を進めて参ります。

ポータルサイトですけれどもその中にはですね、この休みの間に、「よし、家を片づけよう」という人がいらっしゃるかと思います。断捨離をしよう。ということで、片付けコンサルタントの「こんまり」さん、近藤麻理恵さんなどからも、片付けのポイントなどを示す動画をいただく予定になっています。

これからもこの取り組みにご協力いただける方々からの動画やコンテンツを充実させていく予定でございます。このホームページ、随時確認をしてもらいたいと思います。

それから都民の皆様にはこれまでご協力いただいた外出の自粛に加えて、この大型連休中におけます、不要不急の帰省や旅行など、他の道府県への移動の自粛を強くお願いを申し上げます。鉄道、高速バスなどの交通機関を通じて、このポスター等を使って、呼びかけて参ります。赤と黄色のかなり目立つポスターになっているかと思います。

事業者の方々には、12 日間の連続休暇、そしてさらなる出勤の抑制、テレワークの推進についての呼びかけを行う。また働く人のお住まいの近くでテレワークの場を提供する宿泊施設や、その利用を希望する都内の事業者をマッチングさせて、都心などの職場への移動を減らすための取り組みを開始。

それから都立公園であります。3 密を避けるための取り組みについて、利用自粛の呼びかけや駐車場、それから遊具、広場、自然公園のキャンプ場などの施設を閉鎖いたします。それから高尾山のケーブルカーですが事業者のご協力を得まして、4 月 25 日から 5 月 6 日まで、ケーブルカーの運休ということになります。

奥多摩周遊道路であります。地元の町村からの要望もあって、まずは駐車場の閉鎖ということでもあります。

それからスーパー商店街での、いわゆる 3 密を解消するための取り組みでございます。諸外国でもですね、様々な工夫をしているところでもあります。中国、ここは各家庭で 3 日に 1 人、買い物にということですが、武漢の例、最初に都市封鎖をして武漢では 1 週間に 1 回というような制限を加えていた、という報道もあります。

都民の皆さんにはですね、この毎日の買い物を 3 日に 1 回程度に変えていただきたい。それから食料品など、十分な供給がされておりますので、必要以上の買い溜めなどしないようお願いをいたしますし、またメディアの皆様方にも様々な工夫をしていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、お店の混雑緩和策ですけれども、様々な事例がございます。業界団体と連携しての取り組みを進めて参ります。

次に外出抑制の仕掛けづくりであります。在宅を楽しむための様々なコンテンツを用意

いたしております。先ほどの「こんまりさん」の動画も同じであります。東京都の公式動画チャンネル「東京動画」がございますが、こちらに STAY HOME 週間特設コーナーを設置しまして、おうち時間を楽しむためのおすすめ動画を満載していくということで、東京動画と動画メディアでCチャンネルという、おしゃれな若者向けの動画のコンテンツがあります。動画がありますけれども、ここと連携しまして、Cチャンネルの中で、「一緒に乗り越えよう、今年のゴールデンウィークは STAY HOME 週間」と銘打ちまして、若者向けの動画コンテンツを提供。

それから、コロナ対策としてやらなければならないことを覚えやすくするために、STAY HOME 週間で、「コロナ対策いろはかるた」を、都民の皆さんのアイデアとともに進めていくということでもあります。4月26日の午後までに、「あいうえお」でかるたを作ってくださいということでもあります。「帰らない両親のため、地元には」、帰ると、帰ることによって、感染症の不安といいたしましょうか、それをもたらすことになること、また「在宅の勤務が普通令和の時代」等等、皆さんで考えていただきたい。

それから都民の皆さんがおうちでリフレッシュできるように、体を動かすコンテンツも用意しております。テレワークの合間に軽いエクササイズ。そして障害の有無・年齢にかかわらず、おうちでできる運動を楽しんでいただく、またアスリートからのメッセージも配信する予定となっております。

家で、子育てを楽しむためのコンテンツで、東京子育てスイッチのサイトがございますが、こちらを充実させて、家族が楽しく過ごしたための情報、子育て情報の紹介をして参ります。

それから学校の休業でございますけれども、家で過ごす子供たちの学びの支援として、学びの支援サイト、そしてまたテレビ番組で東京おはようスクールの放映。家庭学習の習慣付を支援して参りますので、活用していただきたい。

最後ですけれどもこのいのちを守る STAY HOME 週間であります。首都圏で連携した広報を行って参ります。1都3県、共同キャンペーンの実施ということでありまして、都内の区市町村にも呼びかけをし、都民に周知を図って参ります。

このいのちを守る STAY HOME 週間、STAY HOME、STAY In Tokyo、SAVE LIVES。この取り組みで、外出の自粛、企業の急遽などを、より一層推進して、都民そして事業者の皆様とともに、この国難を乗り越えていきたい。

そして引き続き、そのためのご協力をお願いしたいと存じます。

新型コロナウイルスの感染の拡大を食い止めるには、とにかく人と人との接触を減らす。専門家は「8割減らせ」ということですが、今はちょうど高止まりした数字は2週間前の数字であります。これをもう一段、いやもう2段下げていくためには、これからの2週間が、これは死活的に東京にとって、日本にとって、死活的に重要な期間になります。

STAY HOME 週間、STAY HOME してください、おうちにいてください。そんなことをしっかりと東京都として、都民の皆さんに訴えていきたい。そしてそれを、数で、2週間後に確認できるように、ご協力、最後までよろしくお願いを申し上げます。ともに頑張って参

りましょう。ありがとうございました。

**【危機管理監】**

ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。  
以上をもちまして第 21 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。